

15. 建築物の意匠の場合

令和元年の意匠法改正により、意匠の定義（意匠法第2条第1項）に、新たに建築物が加えられました。

意匠法上の「建築物」に該当するためには、意匠登録出願されたものが、以下の①及び②の両方の要件を満たすものでなければなりません。

①土地の定着物であること

②人工構造物であること（土木構造物を含む）

上記②の「構造物」は、建築基準法の定義等における用語の意よりも広く、建設される物体を指し、土木構造物が含まれます（注）（詳しくは、意匠審査基準 第Ⅳ部 第2章 建築物の意匠 6.1.1.1「意匠法上の建築物の意匠を構成するものであること」をご参照下さい）。

注：こうした定義は、意匠の創作の対象となるものは広く意匠法で保護されるべきとの意匠法の法目的に基づくものです。

15.1 意匠ごとの出願（一意匠一出願）

意匠登録出願は、意匠ごとに行う必要があります（一意匠一出願）、一の出願には原則一の物品等しか含めることができません。

建築物の意匠として出願されたものが、以下に該当する場合は、二以上の意匠を包含し、意匠ごとにした意匠登録出願に該当しないと判断されます。

- ① 二以上の建築物の用途、画像の用途又は物品を願書の【意匠に係る物品】の欄に並列して記載した場合

ただし、複数の用途を有する建築物であり、【意匠に係る物品】の欄に、例えば「複合建築物」と記載され、具体的な用途が【意匠に係る物品の説明】の欄に複数記載されたものについては、意匠ごとにされた意匠登録出願と判断されます。

- ② 図面等において二以上の構成物を表した場合

ただし、図面等において二以上の構成物（棟）が表されている場合であっても、社会通念上それら全ての構成物が一の特定の用途及び機能を果たすために必須のものである場合（例：中央で分離した可動橋）や、当該結びつきが強固ではない場合であっ

ても、近接して建設することを考慮して形態上の関連性を持たせるなど、一体的に創作がなされた場合、若しくは社会通念上一体的に実施がなされ得るものである場合（例：学校の校舎と体育館）は、意匠ごとに出願されたものと判断されます。

他方、例えば住宅と電波塔のように、一の特定の用途及び機能を果たするための結びつきが何ら認められない場合には、二以上の建築物と判断されます。

また、社会通念上、建築物又は土地に継続的に固定し任意に動かさない、建築物に付随する範囲の物品（例えば、ウッドデッキ、門柱等）については、建築物の一部を構成するものとして取り扱われます。加えて、植物や石等の自然物であっても、建築物又は土地に継続的に固定するなど、位置を変更しないものであり、かつ、建築物に付随する範囲のものについては、建築物の一部を構成するものと判断されます。

15.2 願書の記載の留意点

（１）【意匠に係る物品】の欄の記載

願書の【意匠に係る物品】の欄に、建築物の具体的な用途を記載します。

建築物の意匠について意匠登録出願する場合であっても、願書の記載にあたっては、【意匠に係る物品】の欄を使用します。

① 単一の棟（構成物）からなる建築物を出願する場合

住宅、校舎、体育館、オフィス、ホテル、百貨店、病院、博物館、橋梁りょう、ガスタンクなど

② 複数の棟（構成物）からなる建築物を出願する場合

学校、商業用建築物 など

③ 複合的な用途をもつ建築物を出願する場合

様々な業種のテナントが入る大規模施設など、複合的な用途を持つ建築物については、以下の例のように、【意匠に係る物品】の欄に「複合建築物」と記載し、具体的な用途については、【意匠に係る物品の説明】の欄において説明します。

例：【意匠に係る物品】 複合建築物

【意匠に係る物品の説明】 この建築物は、低層階を店舗、上層階を宿泊施設として用いるものである。

④ 建築物の一部について意匠登録を受けようとする場合

意匠登録を受けようとする部分の用途ではなく、建築物自体の用途を記載します。

例えば、住宅の浴室について意匠登録を受けたい場合は、浴室ではなく「住宅」と記載します。

(2) 【意匠に係る物品の説明】の欄の記載

【意匠に係る物品】の欄の記載だけでは、建築物の用途を明確にできない場合は、【意匠に係る物品の説明】の欄に、具体的な用途を記載します。

(3) 【意匠の説明】の欄の記載

【意匠の説明】の欄の記載の留意点は、「1.3 【意匠の説明】の欄について」のとおりです。

例えば、形状、模様、又は色彩が変化する建築物の意匠について、図面等の記載のみでは変化の順序又は変化の態様が明らかでないときは、これらについての説明を【意匠の説明】の欄に記載します。

15.3 図面等の記載の留意点

基本的な図面の表し方は、「2. 図面の記載の基本」のとおりです。

建築物の意匠に特有な図面の記載の留意点及び作図例を以下に記載します。

(1) 建築物の内部について意匠登録を受けようとする場合

建築物の中の一室等のように、「内側」の一部について意匠登録を受けようとする場合、意匠登録を受けようとする部分の形状等及び用途と機能の認定に支障が無く、かつ、出願人が建築物全体の形状等における、位置、大きさ、範囲がありふれたものであると考える場合には、建築物の外側の開示は不要です。

意匠登録を受けようとする部分の建築物全体における位置、大きさ、範囲に特徴があると考えられる場合など、必要がある場合は、建築物全体を開示することもできます。

（２）複数の構成物からなる建築物

複数の構成物からなる建築物について一意匠として意匠登録を受けようとするものである場合には、それらの位置関係が明らかとなる図を少なくとも一図開示します。

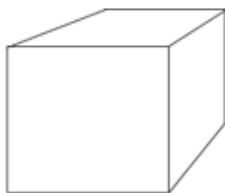
（３）図の表示

図の表示は、物品の意匠の意匠登録出願と同様に、【正面図】、【背面図】、【左側面図】、【右側面図】、【平面図】、【底面図】、【〇〇断面図】、【〇〇切断部端面図】、【〇〇拡大図】、【斜視図】、等を用いて記載しますが、建築図面に用いられる図の表示である【東側立面図】、【西側立面図】、【南側立面図】、【北側立面図】、【屋根伏図】、【〇〇平断面図】、【〇〇立断面図】等を用いて記載することも可能です。

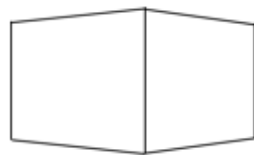
（４）透視図法（パース図法）

正投影図法、アイソメトリック図法（等角投影図法）、アクソノメトリック図法、キャビネット図法、カバリエ図法その他、透視図法（パース図法）を利用することもできます。

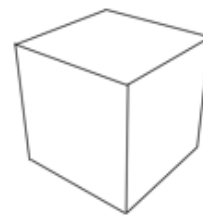
一点透視



二点透視



三点透視

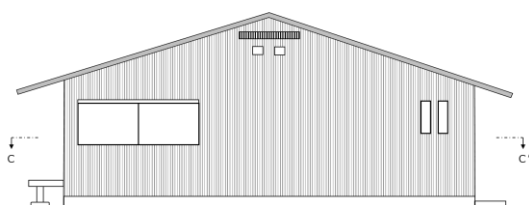


〔図 3.15-1〕正投影図法で表した図面の記載例

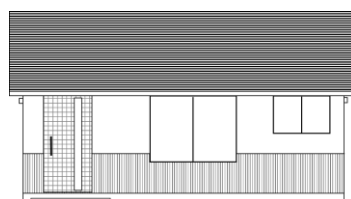
【意匠に係る物品】住宅

【意匠の説明】正面図、背面図、左側面図、右側面図に表された窓はいずれも透明である。
右側面図に表された玄関ドアの縦長矩形部は透光性を有する。

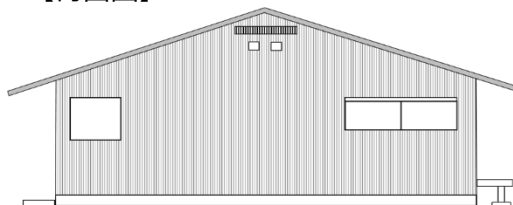
【正面図】



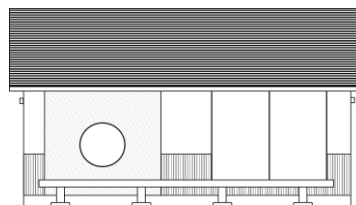
【右側面図】



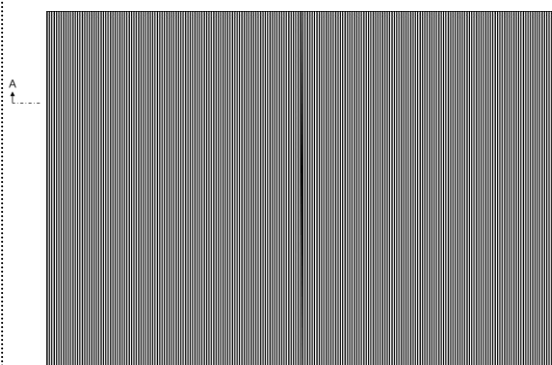
【背面図】



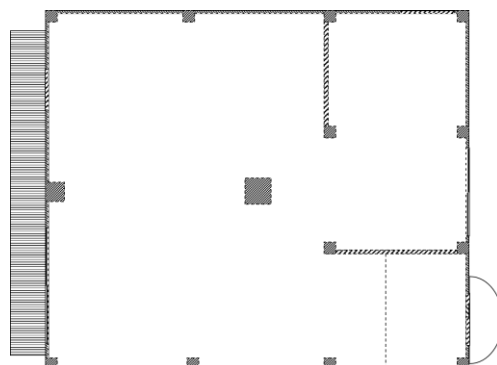
【左側面図】



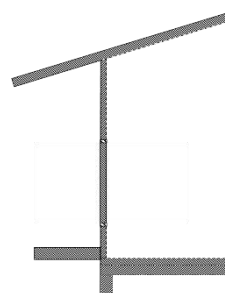
【平面図】



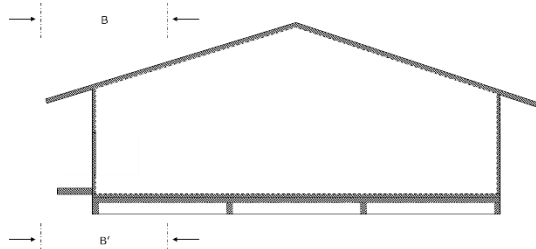
【内部構造を省略した C-C' 線断面図】



【B-B' 部分拡大図】



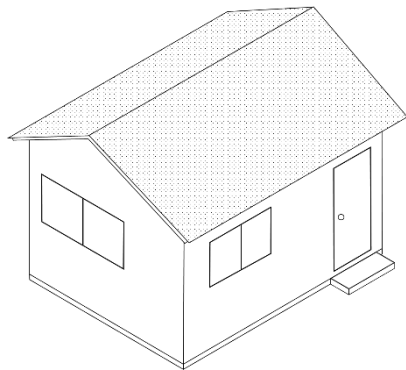
【内部構造を省略した A-A' 線断面図】



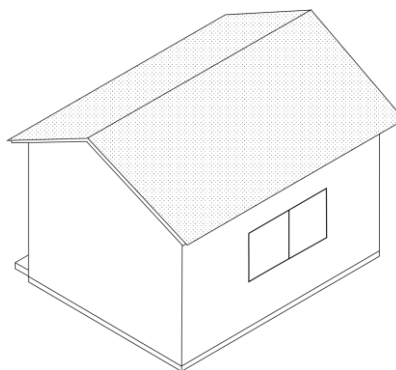
〔図 3.15-2〕アイソメトリック図法（等角投影図法）で表した記載例

【意匠に係る物品】住宅

【正面、平面及び左側面を表す図】



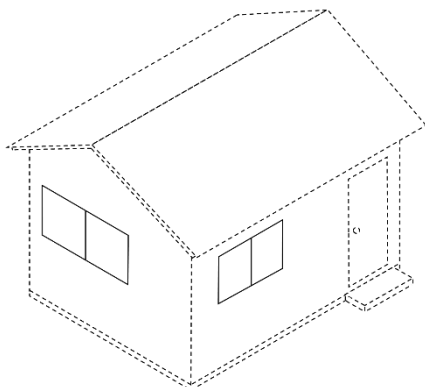
【背面、平面及び右側面を表す図】



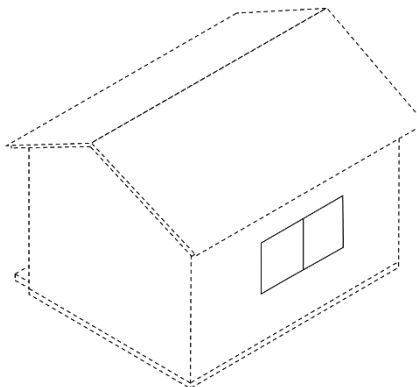
【意匠に係る物品】住宅

【意匠の説明】実線で表した部分以外の部分が、意匠登録を受けようとする部分である。
当該窓部は透明である。

【正面、平面及び左側面を表す図】



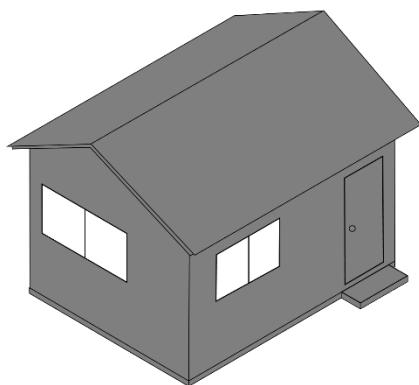
【背面、平面及び右側面を表す図】



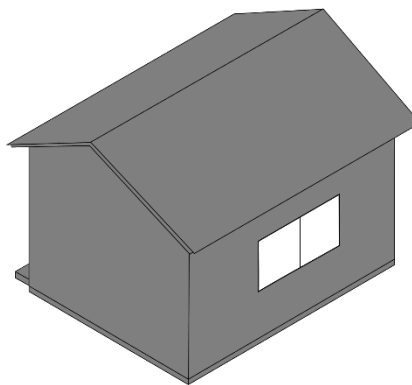
【意匠に係る物品】住宅

【意匠の説明】薄墨を付した部分以外の部分が、意匠登録を受けようとする部分である。
当該窓部は透光性を有する。

【正面、平面及び左側面を表す図】



【背面、平面及び右側面を表す図】

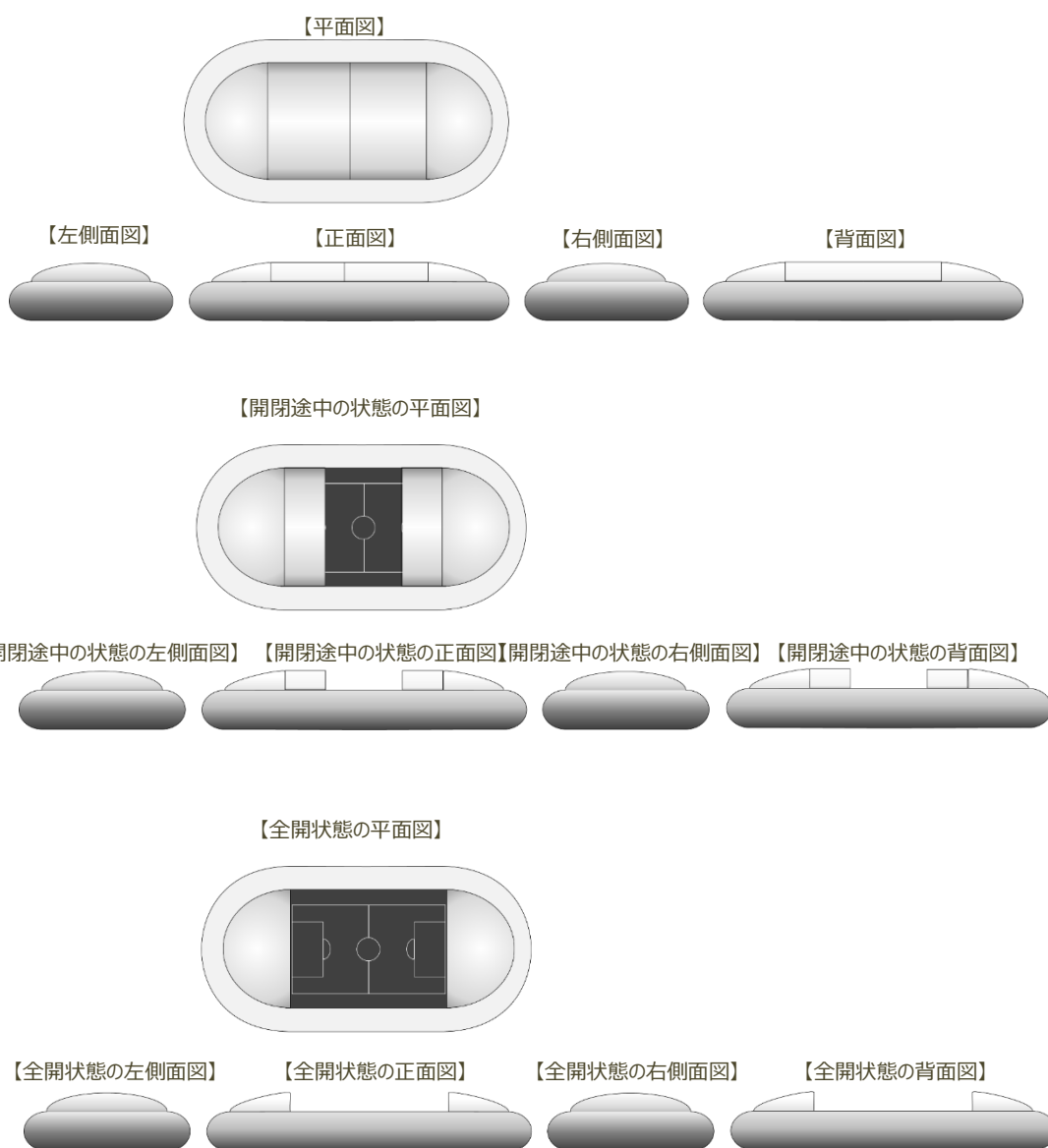


〔図 3.15-3〕形状が変化する場合の記載例

【意匠に係る物品】競技場

【意匠に係る物品の説明】この建築物は、サッカーなどのスポーツイベントや、コンサートなどの音楽イベント等に用いる競技場であって、天候等に合わせて屋根が開閉する。

【意匠の説明】競技場の屋根は開閉式であり、基本の 5 面図は屋根が閉まった状態を表し、開閉途中の 5 面図は屋根が開閉している状態を表し、全開状態の 5 面図は屋根がすべて開ききった状態を表している。高さは約 60 メートル、長さは約 350 メートル、幅は約 180 メートルである。



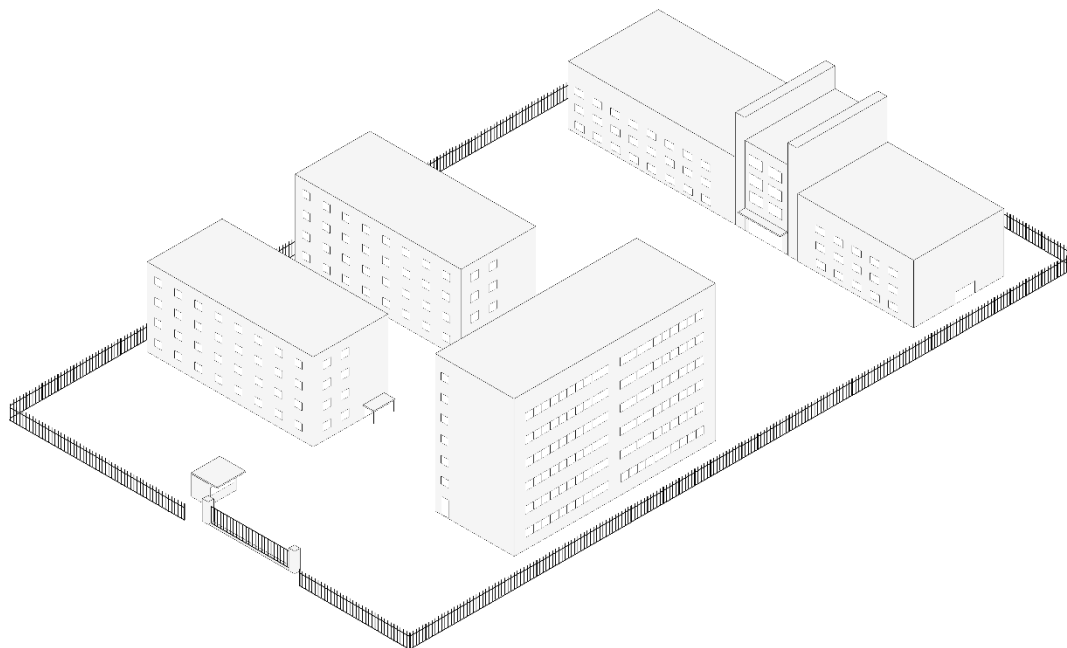
〔図 3.15-4〕複数の棟を表した記載例

【意匠に係る物品】学校

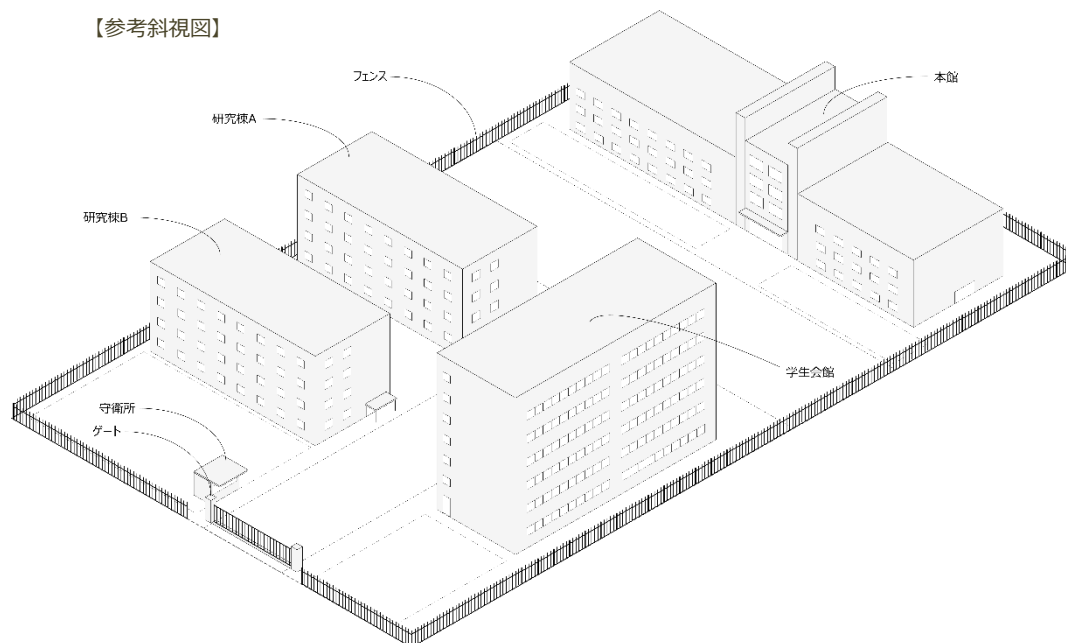
【意匠に係る物品の説明】 本建築物は、参考斜視図に示すとおり、本館、学生会館、研究棟 A、研究棟 B、守衛所等からなる学校である。

【意匠の説明】 各棟に表された矩形の窓はいずれも透明である。

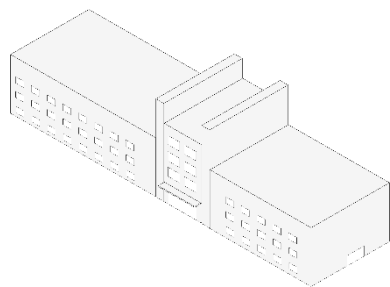
【斜視図】



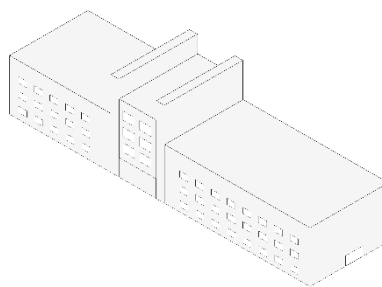
【参考斜視図】



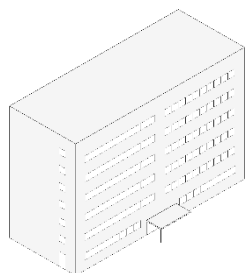
【本館の前方斜視図】



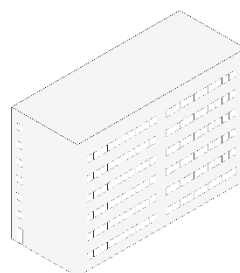
【本館の後方斜視図】



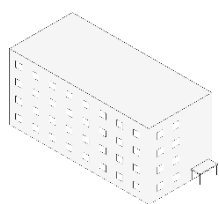
【学生会館の前方斜視図】



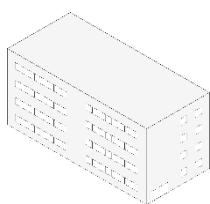
【学生会館の後方斜視図】



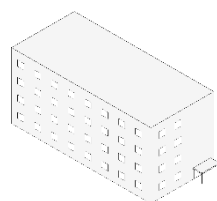
【研究棟 A の前方斜視図】



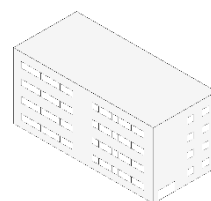
【研究棟 A の後方斜視図】



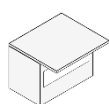
【研究棟 B の前方斜視図】



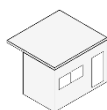
【研究棟 B の後方斜視図】



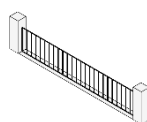
【守衛所の前方斜視図】



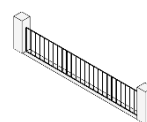
【守衛所の後方斜視図】



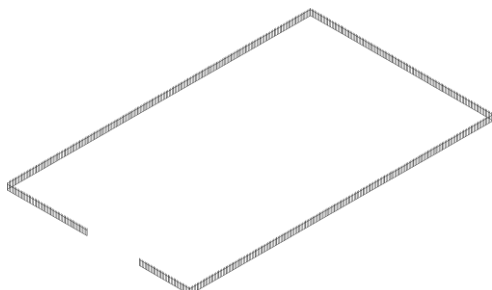
【ゲートの前方斜視図】



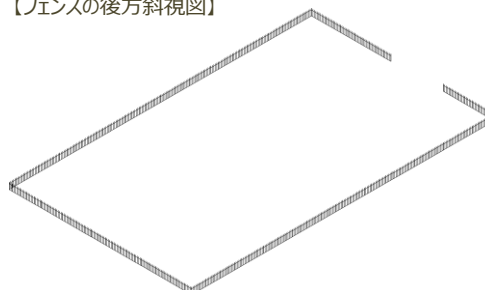
【ゲートの後方斜視図】



【フェンスの前方斜視図】



【フェンスの後方斜視図】

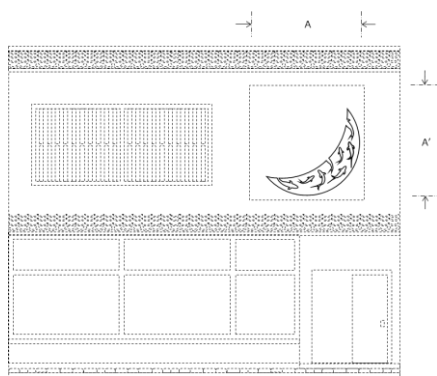


〔図 3.15-5〕照明による模様が変わる場合の記載例

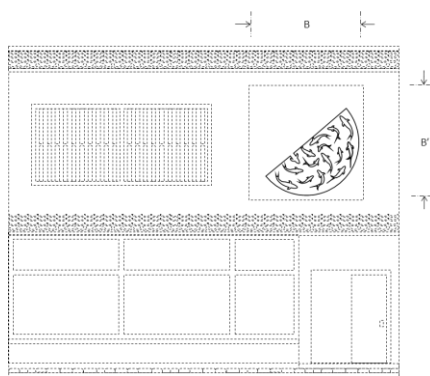
【意匠に係る物品】飲食店

【意匠の説明】 実線で表された部分が、意匠登録を受けようとする部分である。意匠登録を受けようとする部分は、店内からの照射光により外壁に表れる模様である。店内の客席が混雑するに従い、正面図から変化した状態の正面図 1、変化した状態の正面図 2、変化した状態の正面図 3 のように変化する。変化した状態の正面図 3 は、満席の状態を示す。意匠登録を受けようとする部分は平面状であり、光った状態を示す参考図のように、魚形状の部分は影となり、その周囲が光る。

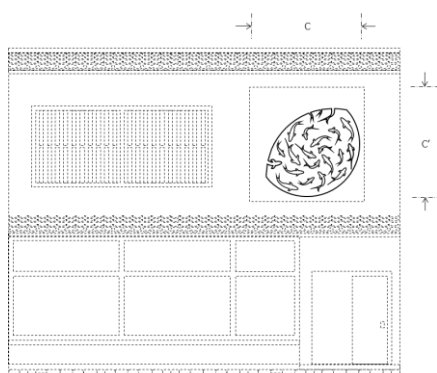
【正面図】



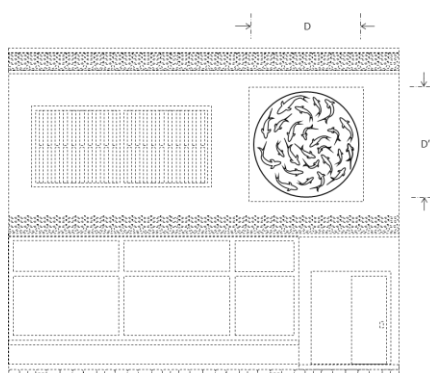
【変化した状態の正面図 1】



【変化した状態の正面図 2】



【変化した状態の正面図 3】



【A-A'部分拡大図】



【B-B'部分拡大図】



【C-C'部分拡大図】



【D-D'部分拡大図】



【光った状態を示す A-A'部分拡大参考図】



【光った状態を示す B-B'部分拡大参考図】



【光った状態を示す C-C'部分拡大参考図】



【光った状態を示す D-D'部分拡大参考図】



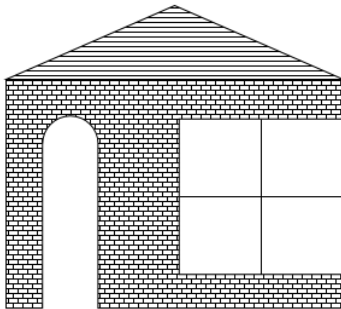
〔図 3.15-6〕建築物の組物の記載例

【意匠に係る物品】一組の建築物

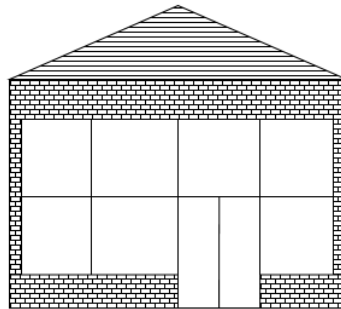
【意匠に係る物品の説明】 この建築物は、アウトレットモールなどに用いられる店舗である。

【意匠の説明】 店舗 1、店舗 2 及び店舗 3 の各店舗の窓部はいずれも透明である。

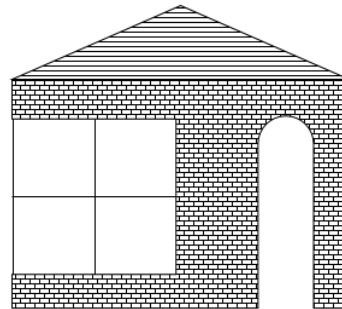
【店舗 1 の左側面図】



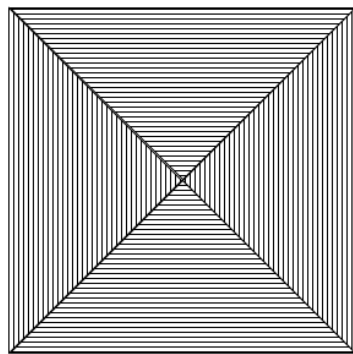
【店舗 1 の正面図】



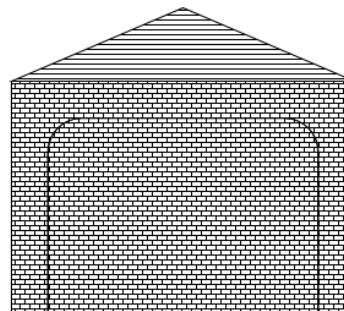
【店舗 1 の右側面図】



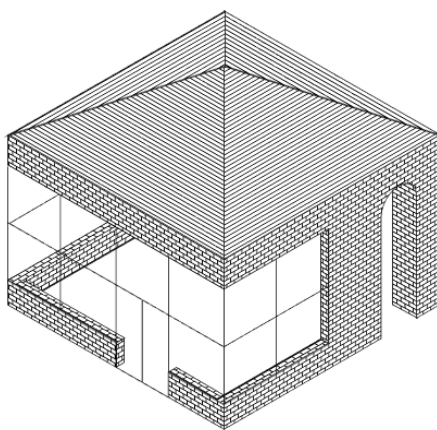
【店舗 1 の平面図】



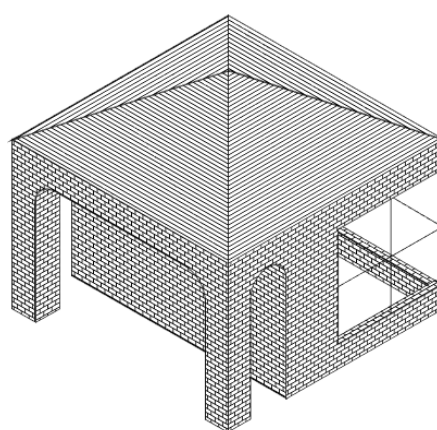
【店舗 1 の背面図】



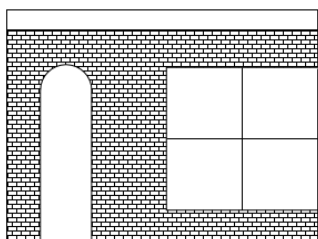
【店舗 1 の前方斜視図】



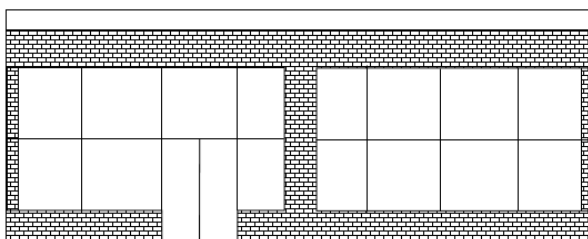
【店舗 1 の後方斜視図】



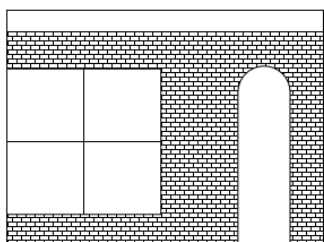
【店舗 2 の左側面図】



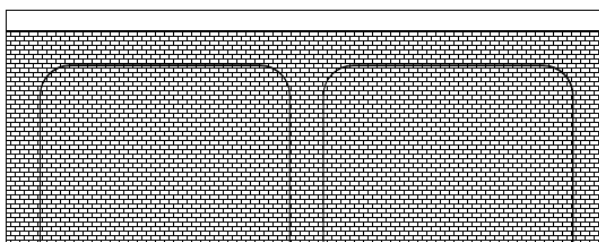
【店舗 2 の正面図】



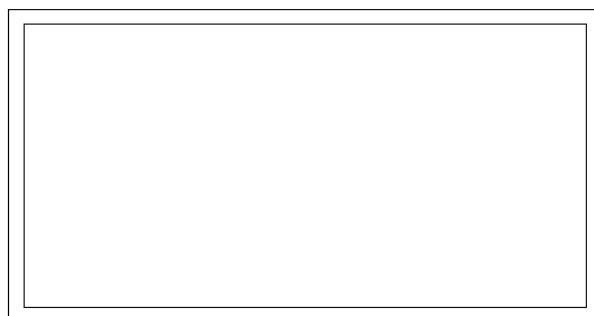
【店舗 2 の右側面図】



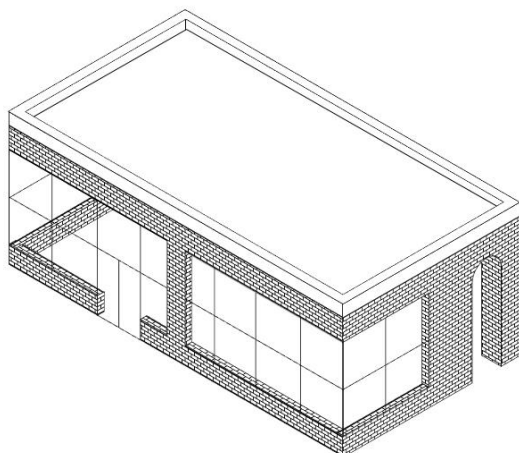
【店舗 2 の背面図】



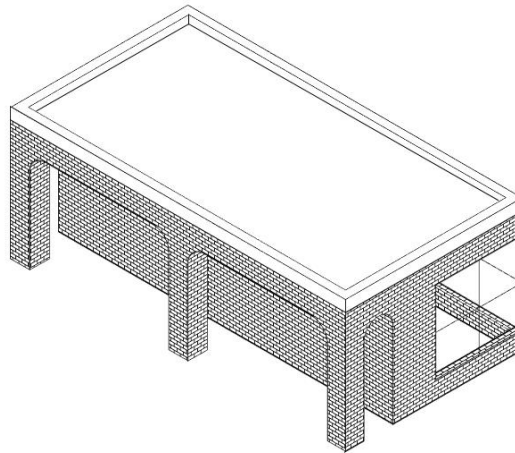
【店舗 2 の平面図】



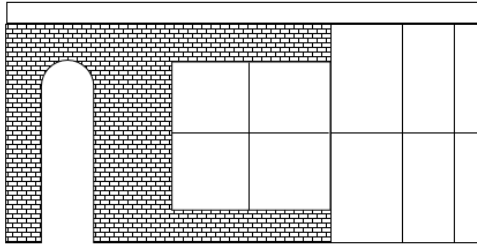
【店舗 2 の前方斜視図】



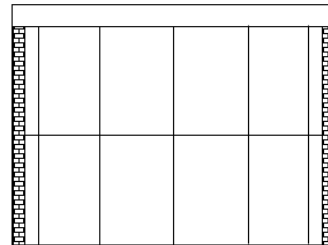
【店舗 2 の後方斜視図】



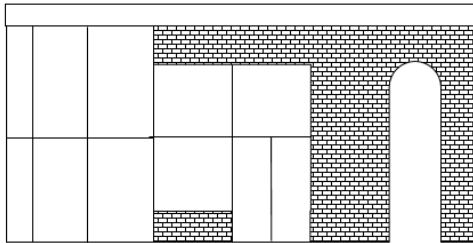
【店舗 3 の左側面図】



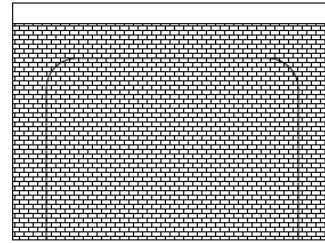
【店舗 3 の正面図】



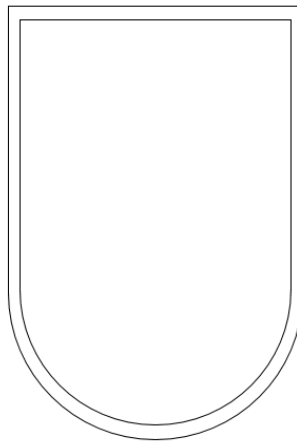
【店舗 3 の右側面図】



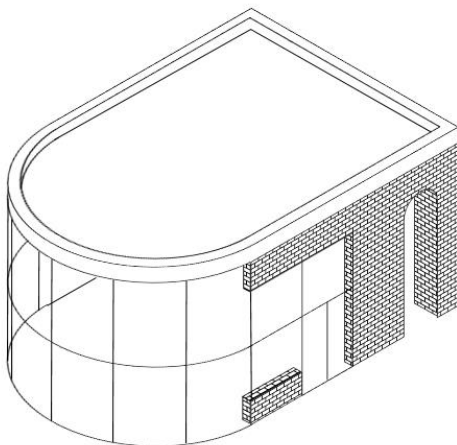
【店舗 3 の背面図】



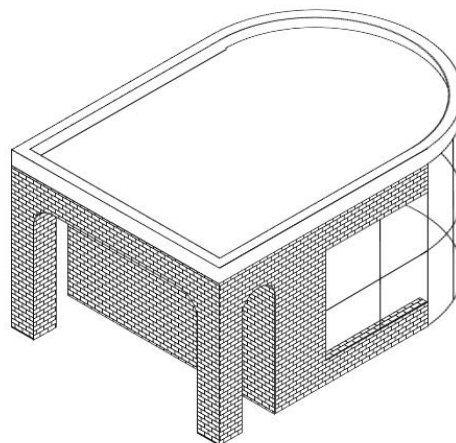
【店舗 3 の平面図】



【店舗 3 の前方斜視図】



【店舗 3 の後方斜視図】

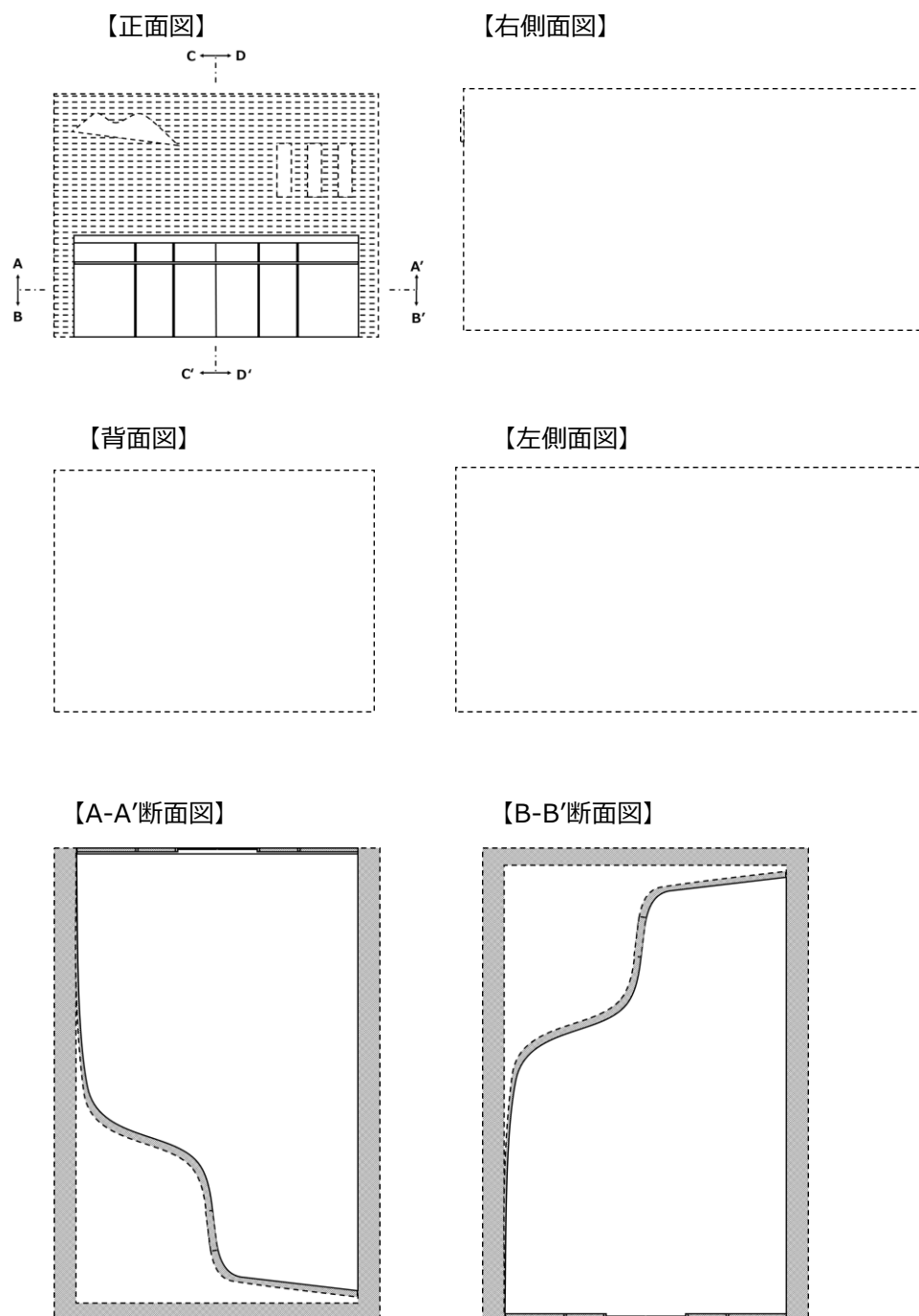


〔図 3.15-7〕建築物の内部について意匠登録を受ける場合の記載例

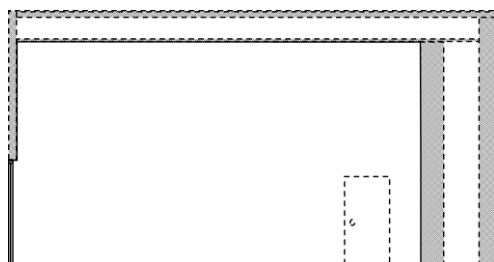
【意匠に係る物品】店舗

【意匠に係る物品の説明】 この店舗は、服飾用品や雑貨等を扱う路面店である。

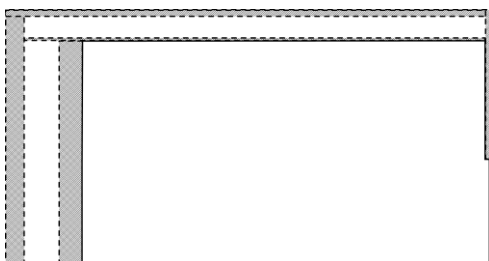
【意匠の説明】 実線で表された部分が意匠登録を受けようとする部分である。透明部を示す参考正面図において薄墨を施した部分は透明である。



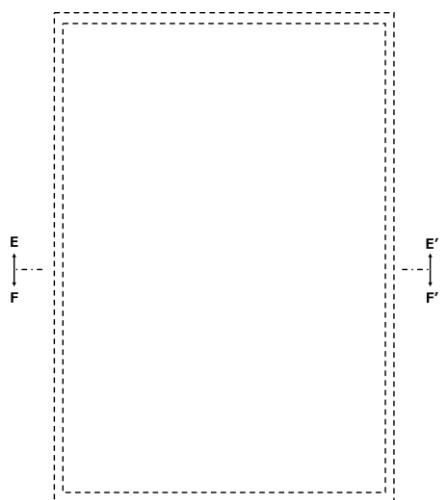
【C-C'断面図】



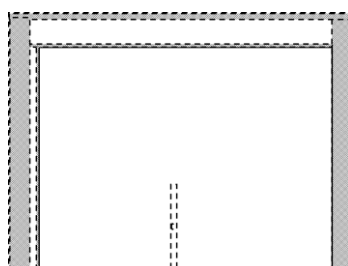
【D-D'断面図】



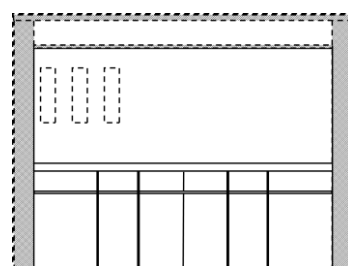
【平面図】



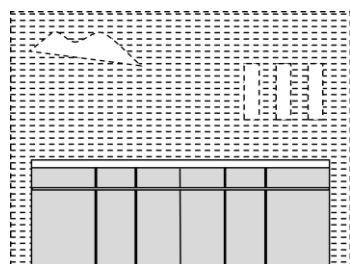
【E-E'断面図】



【F-F'断面図】



【透明部分を示す参考正面図】

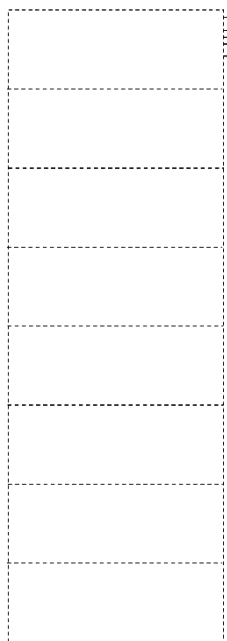


〔図 3.15-8〕 部分拡大図を利用した記載例

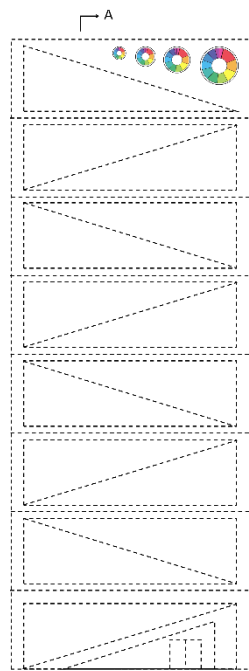
【意匠に係る物品】オフィスビル

【意匠の説明】 実線で表された部分が意匠登録を受けようとする部分である。

【左側面図】



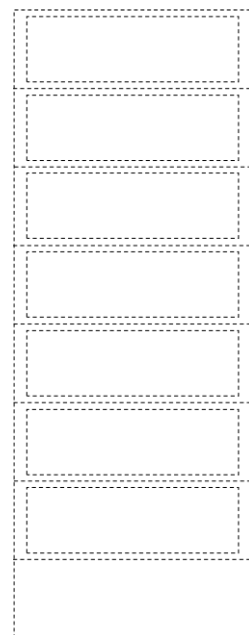
【正面図】



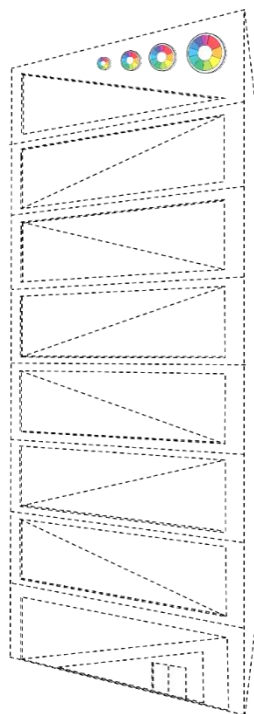
【右側面図】



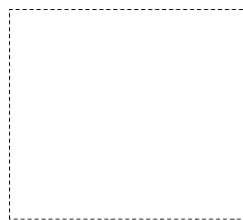
【背面図】



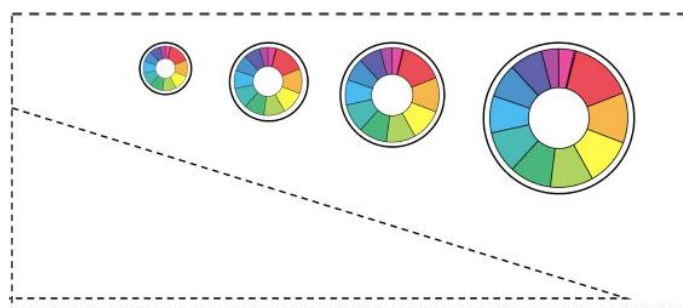
【斜視図】



【平面図】



【A-A'線部分拡大図】



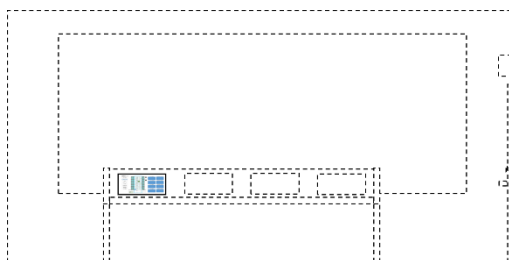
〔図 3.15-9〕 建築物の外側を開示しない記載例

【意匠に係る物品】オフィスビル

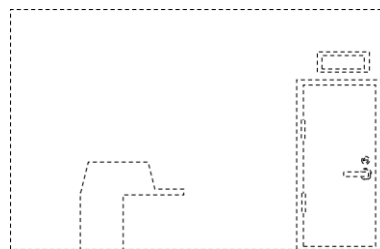
【意匠に係る物品の説明】 図面に表した意匠はオフィス用ビル内にある管理室であり、ビル内の防犯、空調、照明等の管理を行うためのものである。意匠登録を受けようとする部分に表れる画像は、エレベータの運行状況を管理するための画像であり、エレベータの運行状況の確認をするとともに、停止階の設定をすることができる。また、画像内には駐車場の稼働状況や、主要な個所の防犯カメラの映像が表示される。

【意匠の説明】 実線で描いた部分が意匠登録を受けようとする部分であり、画像部分拡大図で示したのが意匠登録を受けようとする部分に表示された画像を拡大したものである。この意匠登録出願の意匠は建築物内の位置を特定しない部屋の内部であり、正面図、右側面図、左側面図及び背面図では、内部の形状等を表すために向かい合う面の壁を除いた状態であらわしている。また、平面図では、内部の形状等を表すため天井を除いた状態であらわしている。

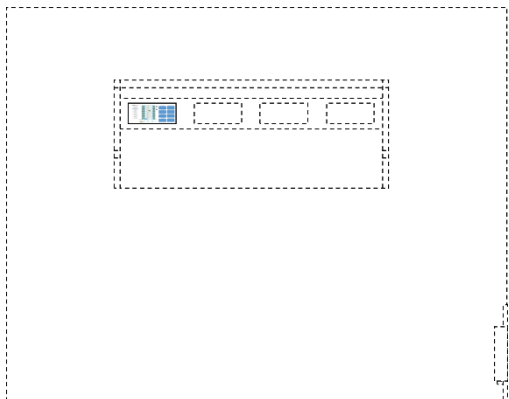
【正面図】



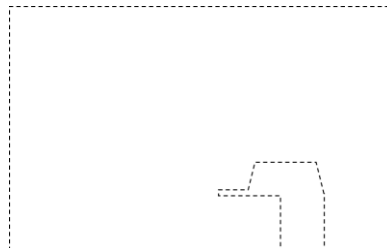
【右側面図】



【平面図】



【左側面図】



【背面図】



【画像部分拡大図】

